年間授業計画

葛西工業高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 工業（建築） 科目 2年建築実習

教　科：　工業（建築）　　科　目：　2年建築実習　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　2 学年　4 組～　5 組

教科担当者：（４組：東 君康、宮田 翔平、阿久津 真依、三浦 夏穂、鈴木 朝美）

（５組：佐藤 裕二、宮崎 友宏、阿久津 真依、三浦 夏穂、鈴木 朝美）

使用教科書：（実教出版「建築実習１」「建築実習２」）　使用教材　：（「新版建築実習１・２」, プリント他　）

教科　工業（建築）　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】建築の各分野に必要である知識・技能・技術・態度を習得する

【思考力、判断力、表現力等】QCDSを思考・判断し、課題・作品に取り組む

【学びに向かう力、人間性等】PDCAを粘り強く実践し、学習改善につなげる

科目　2年建築実習　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工業技術基礎を踏まえ、建築の各分野において共通に必要である基礎的な知識、技能および技術、態度を実習を通して習得する	基礎的な知識・技能を活用して、安全に作業を行い、課題を完成させたり、作品を製作したりする	学んだ内容を報告書にまとめるとともに、自己およびグループの学習を評価し、改善につなげられるようにする

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	**導入** ①建築の各分野において共通に必要である基礎的な知識・技術・態度を実習を通して習得する意義を理解させる。②事故防止に努め、安全に作業を行う態度を身につけさせる。③実習の結果を報告書としてまとめる手法を理解させる。	①「2年建築実習」を学ぶにあたって ②事故防止と安全作業の心がまえ ③実習報告書の作成方法の確認	【知識・技能】建築の各分野において共通に必要である基礎的な知識・技術・態度を実習を通して習得する意義を理解する。行う作業の危険性を理解する。実習の結果を報告書としてまとめる手法を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】今後行う各実習の流れや意義等を理解しようとしている。	○		○	3
	材料Ⅰ〈前半：基礎〉 【知・技】骨材の試験方法や適用規定について学習する。 【思、判、表】コンクリートへの理解を深め、打設に適しているかどうか理解できる。 【学、人】学んだ内容を報告書に作成さることを身に着けさせる	①骨材の単位容積質量試験及び実積率試験 ②骨材のふるい分け試験 ③コンクリートの調合設計 ④コンクリートのスランプ試験 ⑤コンクリート供試体製作	【知・技】骨材の試験方法やコンクリート骨材の適用規定について学習する。 【思、判、表】コンクリートへの理解を深め、建設の際の打設に適しているかどうか理解できる。 【学、人】建築材料に関する専門的な知識を実例に関連付けながら学習の取り組む。学んだ内容・改善点を報告書に作成し、期限内に提出する	○	○	○	12
	施工Ⅰ〈前半：基礎〉 【知・技】鉄筋の組み立て順序や方法などについて習得する 【思、判、表】型枠工事の組み立て手順を立体的に学習する 【学、人】学んだ内容を報告書に作成することを身に付けさせる	①ベース筋の配筋 ②柱及び梁の配筋 ③型枠の組立	【知・技】正しく保護具を着用し、安全を確保しながら正しい手順で作業ができる 【思、判、表】型枠工事の組み立て手順を立体的に学習するとともに、解体方法についても学習する 【主体的に学習に取り組む態度】実践的な作業を通して、学んだ内容・改善点を報告書に作成し、期限内に提出する	○	○	○	12
	計画Ⅰ〈前半：基礎〉 【知・技】模型の制作を通じて、建築物の形態や大きさを考え、空間や街のデザインをする能力を習得する。 【思、判、表】模型製作に必要な道具を適切に利用することができ、模型を完成させる。 【学、人】学んだ内容を報告書に作成することを身に付けさせる。	①プランニング ②住戸模型製作	【知・技】模型の制作を通じて、建築物の形態や大きさを考え、空間や街のデザインをする能力を習得する。 【思、判、表】模型製作に必要な道具を適切に利用することができ、模型を完成させる。 【主体的に学習に取り組む態度】学んだ内容・改善点を報告書に作成し、期限内に提出する	○	○	○	12
2学期	**材料Ⅱ〈後半：応用・発展〉** 【知・技】各素材の圧縮・引張試験を行い試験方法を習得する 【思、判、表】それぞれの特徴を理解し、建築構造への適否を判定できるようにする 【学、人】学んだ内容を報告書に作成することを身に付けさせる	①コンクリート強度試験（圧縮試験及び割裂試験） ②鉄筋引張試験 ③木材強度試験	【知・技】試料を正しく計測し、規則に沿った正しい試験方法で正確に実験を行う 【思、判、表】各材料の特徴を理解し、建築構造への利用の適否を判定できるようにする 【主体的に学習に取り組む態度】学んだ内容・改善点を報告書に作成し、期限内に提出する	○	○	○	12
	計画Ⅱ〈後半：応用・発展〉 【知・技】基礎的な図面図法の知識・技法について理解する 【思、判、表】建築物の内外を立体的に描くことができ、イメージを把握することができる 【学、人】学んだ内容を報告書に作成することを身に付けさせる	①水彩仕上げ ②色彩の基礎 ③室内パース ④街模型製作	【知・技】基礎的な建築図面図法の知識・技法について理解する 【思、判、表】建築物の内外を立体的に描くことができ、イメージを把握することができる 【主体的に学習に取り組む態度】学んだ内容・改善点を報告書に作成し、期限内に提出する	○	○	○	12
3学期	**施工Ⅱ〈　後半：応用・発展〉** 【知・技】左官道具の使い方や壁の作り方等の基本を習得する 【思、判、表】手順を理解し、工具を正しく使い、安全に精度良く行う 【学、人】学んだ内容を報告書に作成することを身に付けさせる	①高所作業時の安全教育 ②枠組足場の水平、組立 ③足場板、防護網の設置 ④左官（壁面仕上げ）	【知・技】左官道具の使い方や壁の作り方等の基本を習得する 【思、判、表】高所作業の危険性を理解し、道具を正しく使い、安全に精度良く行う 【主体的に学習に取り組む態度】作業内容を理解し率先的に取り組もうとする。学んだ内容・改善点を報告書に作成し、期限内に提出する	○	○	○	12
							合計 75